



No.102

市政の窓

「プロでの活躍を期待」

台風15号に続き、10月も最強クラスの台風19号が襲来し本市も甚大な被害を受けました。被災された市民の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。

また、国・県をはじめ、兵庫県、粟市ほか多くの皆様から温かいご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。

なお、台風の影響で、恒例の飯高檀林コンサートや市民体育大会開会式が中止となりました。このことは残念です。

2か月にわたる災害対策本部立ち上げの間、避難所の運営、給水、ブルーシートなどの災害物資の提供など市民生活を最優先に考え対応に当たりました。

が、長期にわたる停電時の対応など改善すべき点もありました。今回の教訓を踏まえ今後の備えをなお一層万全に期していく決意です。

東京オリンピックの開幕まで266日となりましたが、IOC（国際オリンピック委員会）から、オリンピック競技の華、マラソンと金メダルが期待される競歩の会場を札幌に変更するという大型台風並みの報道がありました。酷暑対策でマラソン競技のスタート時間を早朝に変更するなど計画されていますが、今後の対応は関係者間での話し合いにより、出場選手がベストを出せる素晴らしい開催となることを願います。

このたびの台風では多数の犠牲者を出し、河川氾濫などによる被災地の復旧は道半ばの中で、国民の祝意の内に天皇陛下下の「即位礼正殿の儀」が厳かに執り行われました。時節柄、天皇、皇后両陛下のパレード「祝賀御列の儀」は今年10日に延期されました。

本市にも明るい話題があります。プロ野球ドラフト会議でかねてより期待されておりました八日市場第二中学校（匝瑳リトルシニア）出身で横浜高校の及川雅貴投手が阪神タイガースの指名を受けました。また、日本ゴルフ協会のプロテストに野栄中学校出身（東北福祉大卒）の宮内孝輔選手が見事合格し、それぞれプロの道へ進むことになりました。郷土出身のプロ選手の大いなる活躍を期待し、応援して行きましょう。

匝瑳市長 太田安規

檀林と災害

飯高を歩く

匝瑳探訪 162

9月、10月と台風被害が続きました。江戸時代に日蓮宗の学問所だった飯高檀林（飯高寺）にも台風被害の記録が残されています。

175年前の飯高村の家数は115軒で、村内は三つに分けられて支配され、うち飯高寺領は30軒でした。同寺には幕府から30石（約3ヘクタール）の土地が与えられ、領内の農民はこれらを耕作し寺に年貢を納めていました。

当時の檀林境内の杉林の中には学徒の寄宿舎が建ち並び、領民も境内周辺に住家を構えていました。そうした中、飯高寺周辺の台風被害は天明3（1783）年8月にありました。

16日夜半から雨が降り出し、18日夕方からは「大風雨（台風）」になり寄宿舎や民家などが被害を受け、記録には20日に「ビヤク」と書かれ、境内下の2軒が土砂被害を受けたことが知られます。境内の倒木も見られ、寺に届け出があり責任者が現場を確認し伐採を許可した、と記録されています。

雨は20日、21日も降り続きました。被災した民家への対応は書かれていませんが、「22日快晴」とあるのでこの日から領民総出で復旧作業に当たったのでしょう。

領内の農民は、年に4回、各家から1人ずつ人を出し境内や周辺の道の整備や、台風などの際には寺が近隣村に所有する山林の被害状況を名主などの村役人を通して寺側へ伝えました。寺の事務日誌と言える記録からは、寺側と農民代表者とのやりとりを知ることができ

ます。

（市文化財審議会委員・

依知川雅一）

秘書課広報広聴班

☎73・0080



台風15号通過後の飯高寺の様子（9月9日）



台風15号の影響で倒木した境内の杉

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

秋深み耳をすませばこおろぎの
澄みし音色を聞きいる夕べ
宇野とし子

通電し少し長めの湯に浸かる
電話も鳴りて嬉嬉とす妻は
大木 洋一

今秋は台風一過秋晴れなく
後を追う風雨に涙す被災地
川手 芳

台風の過ぎたるあとにこおろぎの
うるさいほどに鳴き声響く
伊藤 英子

思い出づ親の教えのありがたし
誰より長く生きし我なり
伊藤登美枝

停電に月夜は遠く静もりて
とぎれとぎれにすず虫の鳴く
木下 昌子

若きママお互い様と言いながら
老婆のポリタンクさっさと持ち上ぐ
小川 一夫

脳梗塞のわれの歩みのたどき無く
杖を頼りの日々となる
小川 知至

停電の続く夜ごとのランタンに
燈火管制の戦時が浮かぶ
伊橋 良子

金次郎の苦闘の跡や桜町
今コンバインの縦横に走る
石田 治

八十過ぎて免許返納無事すませ
テレビつければ大事故の報
小川 まさ

川口城司 推薦

俳句

高安せい子 推薦

確かなる夫の手元や南瓜割る
椎名 晴江

秋霖や着信音の深々と
大川 宣子

閑けしや紫苑暮れゆく空青し
光瀬甲江子

甲斐の国ころがり落ちて榎櫃の実
安藤 建子

一周忌の母にルージュと言ふ葡萄
椿 和枝

川口城司 推薦

風吹きてとさかの欠けし陶の鶏
野仲 妙子

大停電裸に月光沁みてくる
石田 健

川柳

棘の無い菊の優しさ祖母の顔
江波戸京子

菊作り生き甲斐にして白寿翁
佐久間美智子

菊づくり丹精こめて努力賞
鶴澤 澄子

手塩かけやっとなかせた菊の花
常世田やす子

菊ちゃんと呼ばれる君は好々爺
椿 謹二

我思う愛しき菊に語りかけ
安藤 幸雄

七五三孫が主役の祝い酒
松野 敏昭

台風も宇宙の中的一条か
高木 芳夫

川口城司 推薦

通電し溶けた形で氷菓子
石田 津

力作募集中

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-1219 匝瑳市八日市場ハ793番地2
TEL 0473-0080 FAX 0472-11114

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…5日(火)～7日(木)・毎週月曜日 ●祝日開館日…23日(土)17時まで
●八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

文化の日は読書を

「文化の日」は1946年11月3日の日本国憲法公布の日を記念して、1948年に制定されました。この日は「自由と平和を愛し、文化をすすめる日」です。ぜひ、図書館にお越しください。
図書館には美術全集の他、芸術に親しみを持てる本もあります。また児童図書では、日本の伝統文化である歌舞伎も分かりやすく紹介しています。3日(日)まで、一般書・雑誌が何冊でも借りられますので、この機会にご利用ください。

冬のおはなしを楽しむ会

大型絵本やパネルシアターなどで、楽しく過ごしましょう。
日時…12月7日(土)14時から(約45分間) 場所…八日市場公民館市民ギャラリー 対象…小学校3年生くらいまでの児童。幼児は保護者と一緒にご参加ください。

11月の「おはなし会」

★八日市場図書館 毎週土曜日14時から約30分間
★のさか図書館 第4土曜日10時30分から約30分間

おすすめの本

『歌舞伎さんぽ』

小田豊二/文 タムラフキコ/絵 柏書房

歌舞伎の人気演目を分かりやすい筋書きとイラストで紹介しています。知ればもっと面白くなる解説と、今に残る名所旧跡、ゆかりの地を紹介する散歩ガイドも付いています。

『かぶきがわかるねこづくし絵本1 仮名手本忠臣蔵』

吉田愛/文・絵 瀧晴巳/解説 講談社

赤穂浪士のあだ討ちの実話を、室町時代に置き換えて、壮大な物語が展開します。日本人が長く愛してきた物語を、猫たちが演じます。同シリーズ『義経千本桜』『菅原伝授手習鑑』もあわせてどうぞ。